

あなたが写っていませんか？ 広報紙に掲載した写真は、広報課で撮ったものでしたら無料でさしあげます。広報課までご連絡ください。

●活発な意見交換が行われました 市町村合併説明会に921人の市民が参加



9月18日～30日、新狭山公民館をはじめ市内9か所で市町村合併説明会を開催しました。市町村合併のあらましについて職員が説明するとともに、「まずは入間市との合併を目指す」という市長の考えを市長自ら説明した後、意見交換などが行われました。



●「甘い恋、苦い恋。16・17世紀の恋歌を集めて」 博物館レクチャーコンサートは毎回大盛況

9月14日、博物館の舞い舞いホールで、恒例となったレクチャーコンサートを開催しました。曲や楽器の解説を交えたこの演奏会は「親しみやすい」と毎回好評です。この日は、山本朋子氏のソプラノと倉又義克氏のリュートによる恋の歌で構成され、紡ぎ出される素晴らしい音に100名以上が酔いしれました。

●狭山ジュニアユースフットボールクラブが 青少年スポーツ交流で貴重な体験

8月22日から5泊7日の日程で、狭山市代表サッカーチームが姉妹都市の米国オハイオ州ワージントン市を訪問し、同市の中学生チームと親善試合を行いました。選手達はホームステイを通じてアメリカ生活を体験。たくさんの思い出をつくり、出会いとふれあいに満ちた素晴らしい親善訪問となりました。



狭山ジュニアユースフットボールクラブの選手とコーチなどから構成された狭山市代表サッカーチーム

親善試合では8戦全勝と好成績でした



●いろいろなおもちゃで遊んだよ 中央児童館の親子交流スペースがオープン

10月1日、中央児童館の科学館1階をリニューアルして、お母さんと赤ちゃんがゆったりと過ごせるスペースができました。訪れたお母さんたちは、真新しいプレールームの遊具やおもちゃで楽しく遊んでいる子どもをやさしく温かく見守っていました。



●人生の大先輩の皆さんに
趣向を凝らした催しで笑顔をプレゼント

9月の敬老の日前後に、市内各地区で敬老会が開催されました。今年、市の敬老会に招かれたのは、75歳以上の方8千565名。各地区の特色を生かし、趣向を凝らした手作りの催しに、皆さんニッコリと笑顔を見せ、会場全体が温かな雰囲気になりました。



水富地区の敬老会では、水富小学校の金管バンドの演奏や、健康のための簡単な体操などをみんなと一緒に楽しみました



市内で今年度100歳を迎える9名に、記念品などが贈られました。いつまでもお元気で



●何を入れようかな、今から楽しみ
富士見公民館で籐工芸に挑戦

9月17日、富士見公民館で籐工芸教室が開催されました。参加した16名は、花の形から名付けられた「菊かご」を編み上げていきました。「編み目をきれいにするのは難しいけれど、少しづつ形になってきたから完成が楽しみです」「何を入れようか考えると、ワクワクします」と熱心に取り組んでいました。



●身体に無理なく、良い運動ができました！
アクアフィットネス教室を開催

9月2日～11日、全5回のコースで、人間川小学校プールを会場にアクアフィットネス教室を開催しました。参加した30歳代～70歳代の23名は、プールサイドのインストラクターの動きを真似し、アクアピクスに息を弾ませながら楽しく挑戦しました。



●縄文時代にタイムスリップ
ついに縄文土器が完成

9月13日、柏原中学校で美術を選択する2年生23名と学校開放講座の受講生23名が、粘土で作った縄文土器を校庭で薪を使って焼き上げました。この日は晴天に恵まれ、突き刺すような日差しと燃えあがる炎で厳しい暑さとなりましたが、中学生と受講生が協力して作業し、お互いに作品を見せ合うなど、交流もできました。直火で焼かれた土器はとても素朴な風合いを漂わせ、参加者は満足そうでした。